

2 停電についての技術対策

(1) 畜種共通

【事前対策】

- ・農場で必要な電力量（全体、個々の機器）の把握しておきましょう。
- ・停電時に使用できない機器を事前に確認し、発電機に接続する機器の優先順位を決めておきましょう。
- ・必要な電力量に応じた発電機を準備しましょう。発電機の確保は、購入する手段の他にもレンタル契約や共同使用などの手段もあるので可能な手段で検討しましょう。
- ・発電機を持っている場合には、定期的に動作確認を行い、燃料を確保しておきましょう。
- ・発電機と使用する電気機器を接続し、接続した電気機器が正常に作動することを確認しましょう。また、いざというときに慌てないように、速やかに電源の切り替えができるように手順等を確認しておきましょう。
- ・停電時には、機器を使用した暑熱対策は難しくなりますので、畜舎内の風通し、屋根の石灰塗布やグリーンカーテンなど電力に頼らない暑熱対策も行いましょう。
- ・井戸水を利用している場合には、ポンプが利用できないために断水しますので、併せて断水対策も確認しておきましょう。

【停電中対策】

- ・発電機を使用する際には、接続する機械の優先順位を決めて、1つずつ機械のスイッチを入れるなど、発電機に急激な負荷を与えないように注意しましょう。
- ・夏季であれば送風機が利用できなくなるため、熱中症に注意しましょう。

【事後対策】

- ・自動化されたシステムを導入している畜舎では、復電後に、給餌、給水、換気システム等が正常に稼働していること、タイマーの設定等に異常がないことを確認しましょう。
- ・浄化槽やふん強制発酵装置などの環境対策施設は、復電後に運転状況のチェックを必ず行いましょう。

(2) 酪農

【事前対策】

- ・場面ごと（停電時間や季節）に必要な機器の電力量を把握し、稼働させる優先順位を決めておきましょう。

優先順位の例：搾乳機器→給水→送風機（夏季）→生乳冷却→照明→除ふん→排水

【停電中対策】

- ・搾乳を1日1回にする場合には、飲水や濃厚飼料を制限して乳量を抑えること、牛舎への出入りを抑えて搾乳刺激を与えないことなどで、乳牛への負担を減らしましょう。
- ・搾乳は泌乳前期の牛を中心に行い、泌乳末期牛は乾乳を検討しましょう。
- ・集落内やJA等関係機関との情報交換に努めましょう。

【事後対策】

- ・停電で発生した様々なストレスにより牛に異常が発生することも考えられます。よく牛を観察し、必要に応じて獣医さんに診てもらおうようにしましょう。

（3）肉牛

【事前対策】

- ・場面ごと（停電時間、季節ごと）に必要な機器電力量を把握し、稼働させる優先順位を決めておきましょう。

（4）養豚

【停電中対策】

- ・分娩舎・離乳舎で電気式の保温機が停止した場合は、温湯等を利用し、ペットボトルなどを利用した湯たんぽなどにより子豚の保温に努めましょう。
- ・分娩舎で子豚の周りの温度が低いと、子豚が母豚に接して休息するので、圧死などの事故に注意しましょう。
- ・発電機がない場合は、ウインドレス豚舎や子豚ハウスなど電気で空調管理を行っている密閉された施設では、施設内温度や炭酸ガス濃度やアンモニアガス濃度の上昇を抑えるためにドア等を開閉し、緊急的な通気・換気を行いましょ

（5）養鶏

【停電中対策】

- ・育雛舎^{すう}で電気式の保温機が停止し、保温が一時的にできなくなった場合、石油ストーブの利用等、他の温源を利用した保温に努めましょう。
- ・発電機がない場合は、ウインドレス鶏舎など電気で空調管理を行っている密閉された施設では、施設内温度や炭酸ガス濃度やアンモニアガス濃度の上昇を抑えるために、ドア等を開閉し、緊急的な通気・換気を行いましょ